

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 10月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナ禍で馴染みの関係の方との交流が途絶えている。	ご家族だけでなく、馴染みの方々とも交流が再開できるようにする。	面会再開の際にはご家族だけでなく、馴染みの方々にもご連絡していただき、積極的にご来所での面会を受け入れる。 馴染みの方々との交流で昔の話などをしていく中で、ご本人も楽しんでいただくようにする。	3ヶ月
2	26	コロナ禍で関係者の意見を反映できる機会が減少しており、ご入居者様にとって良いサービスが提供できているか不安な部分がある。	できるだけ多くの関係者の意見を聴取できる仕組みを構築する。	集まったのカンファレンスは依然難しい部分があるが、電話やFAX等で意見を求めてサービスに反映できるようにする。	2ヶ月
3	35	実際の避難訓練ができておらず、避難方法等を知らない新入職員がいる。コロナ禍に関わらず災害は起こる可能性があるため不安要素がある。	新入職員も含めて全職員が災害時の対応を把握する。	法定の避難訓練以外にも、避難経路や避難方法、連絡方法等を随時確認を行い、全職員が昼夜を問わず適切な対応ができるようにする。	2ヶ月
4	49	外出は必要な通院時のみになっているため、地域との交流や気分転換等ができていない。	できるだけ外出の機会を作り、入居者様の気分転換を図れるようにする。	散歩の時間を定期的につくるようにする。時間がなければ施設の玄関先で外の様子を感じていただけるようにする。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。